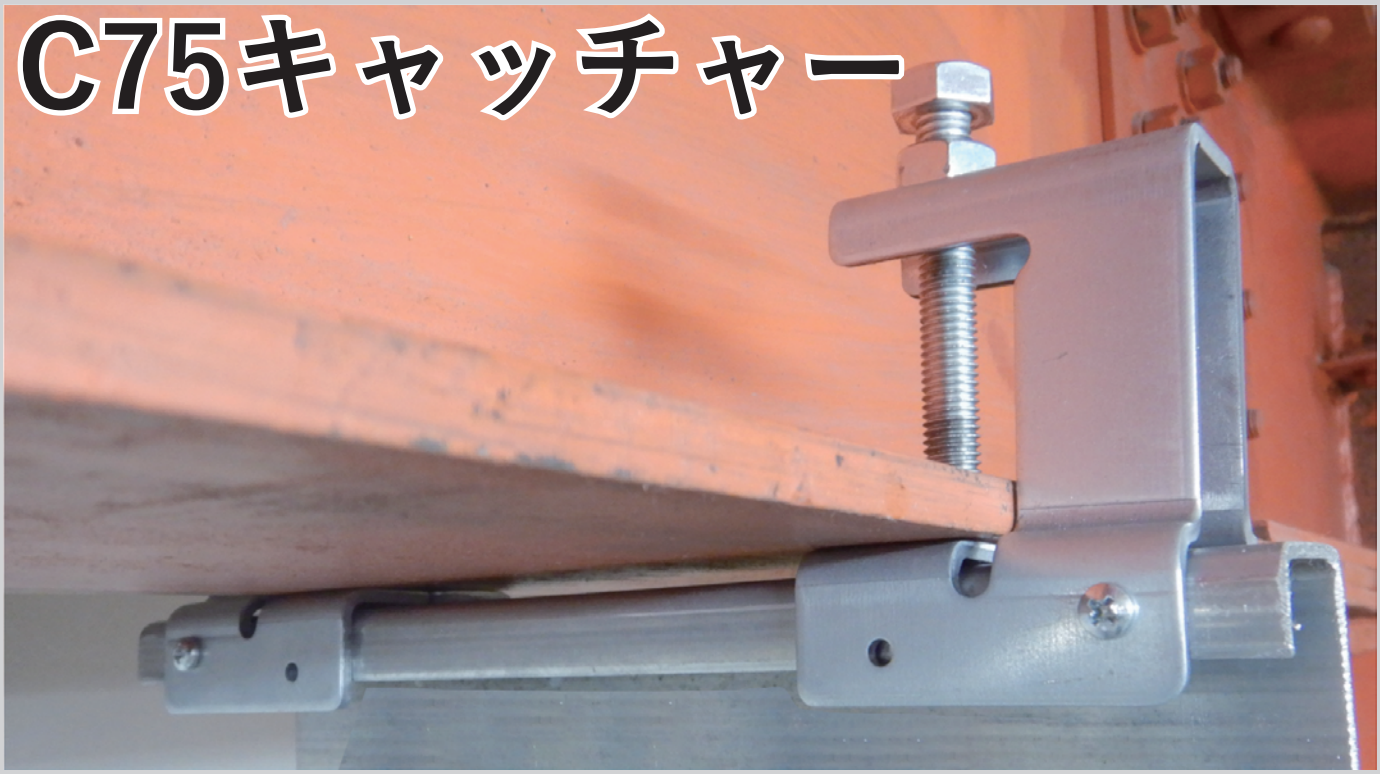
100年の安心に、こたえる
KIRII

C75キャッチャー



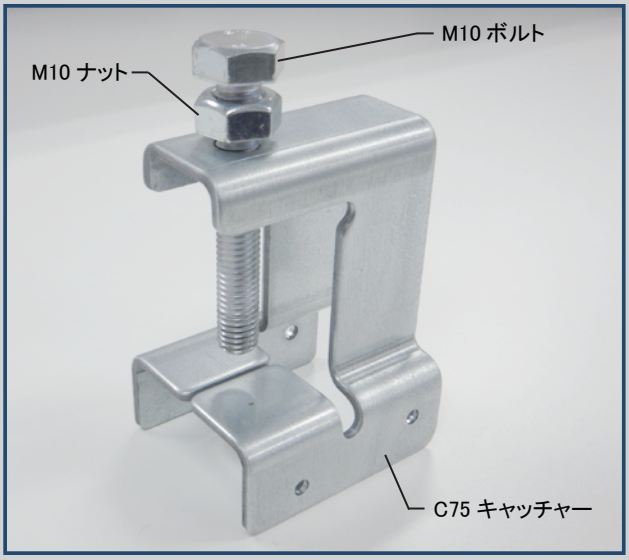
>>>特徴①

>>>特徴②

H 鋼フランジ厚さ 10 ～ 45mm に対応

>>>特徴③

C75×45×15(t1.6、 2.3) 専用金具



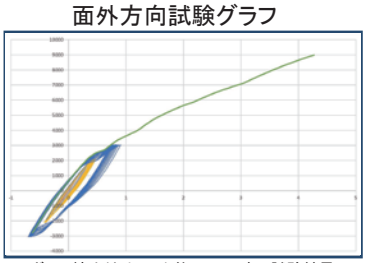
＜金具詳細＞

部 材 名 称 ： 先行ピース取付け用金具
品　　名 ： C75 キャッチャー
規格・材質 ： JIS G 3302 SGHC
表 面 処 理 ： Z12
入　　数 ： 20 個

>>>試験結果

許容荷重
- 鉛直方向 ： 2000N
- 面外方向 ： 1500N
- 面内方向 ： 800N

面外方向試験グラフ



＊ボルト締め付けトルク約 8N・m時の試験結果

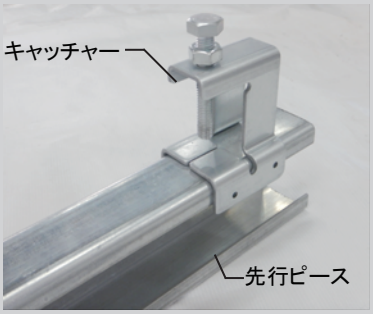
面外方向試験写真

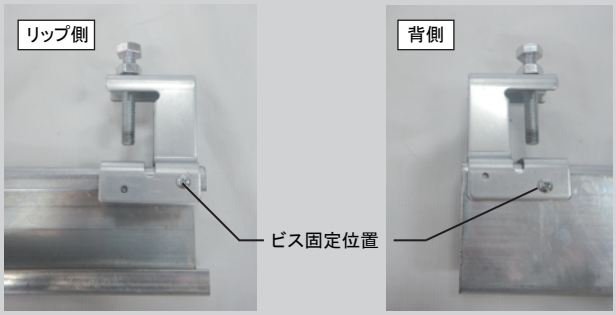
>>>

- 金具の取付け間隔は、 工事管理者や設計者にご確認ください。
- C75 キャッチャーを取付ける際は、 H 鋼フランジに対して直角に隙間なく取付けてください。
  斜めに取付けるなど隙間が生じる場合、 耐力低下の原因となります。
- ビスは KIRII 耐震ビス PAN ： 4.2×16 ㎜の使用を推奨します。
- 付属ボルトの仮止め、 本締めを行う際は、 緩み止めナットが金具に干渉しない状態であることをご確認ください。
- 金具形状から先行ピースを H 鋼と平行に取付けることはできません。
- 先行ピースをハネ出した納まりはできません。

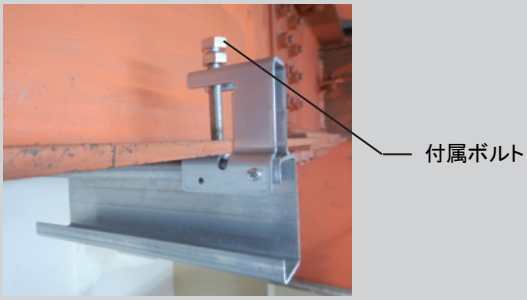
>>>

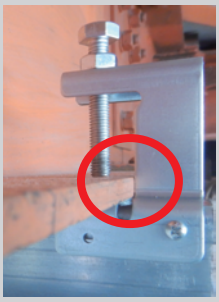
【1】先行ピースは、H鋼フランジ長さの＋80 ㎜程度のサイズでカットする。
【2】カットした先行ピースの片側に C75 キャッチャー（以降、 金具と表記）を取付ける。
金具は左右1箇所、 計2本のビスで固定する。（ビス 4.2×16mm）



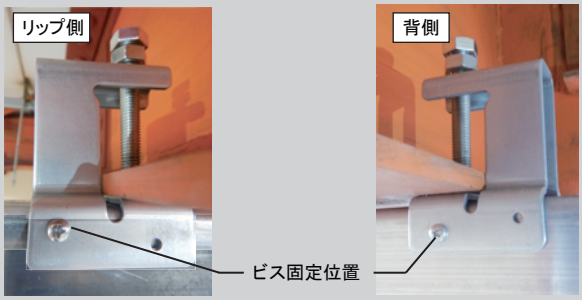


【3】H 鋼へ取付ける。
【2】で取付けた金具をH鋼フランジに対し、 直角に隙間なく取付け、 付属ボルトで仮止めを行う。
（仮止め回転目安：付属ボルトを手回しでフランジに固定後、 ボルトを 90 度回転）

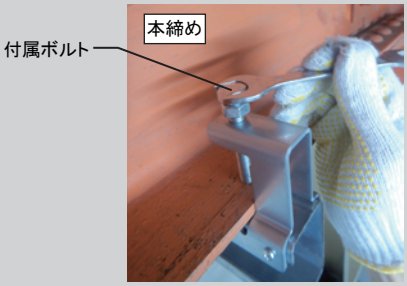


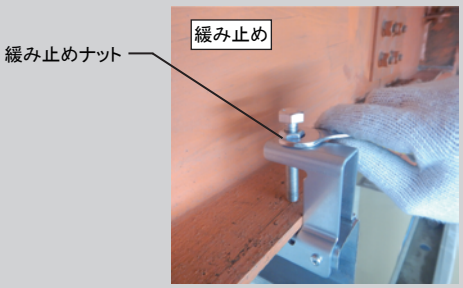


【4】2個目の金具を取付ける。
金具は先行ピースと H 鋼フランジの間にスライドさせ、 H 鋼フランジに対し直角に隙間なく取付け、 付属ボルトで仮止めを行う。
その後、 仮止めを行った 2 個目の金具と先行ピースをビスで固定する。 固定ビス位置は【2】と同様。



【5】両側金具の本締め、 緩み止めを行う。
本締めの締め付けトルクは8N・m 程度とし、 付属ボルトをスパナなどで回転させ締め付ける。
（本締め回転目安：仮止めの状態からボルトを 180 ～ 270 度回転）
本締め後、 緩み止めナットをスパナ等で回転させ隙間なく締め付けを行う。 もう一方の金具も同様に本締め、 緩み止めを行う。





>>>

CHECK!
その他壁工法のカタログを Web で公開中
桐井製作所
お問合せ窓口
▶ ご不明な点はお問合せください
Tel：03-4345-6005
（平日 9:00 ～ 17:30）
＜受注生産品の納期・ご注文およびお見積りなど＞
お近くの株式会社桐井製作所　営業拠点にお問い合わせください。
＜その他のお問い合わせ＞
株式会社桐井製作所（本社・開発部）
URL：https://www.kirii.co.jp/